

PRESS INFORMATION

2012年4月11日
株式会社日本レースプロモーション

4月14日(土)～15日(日)「鈴鹿2&4レース」

2012年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン選手権概要

株式会社日本レースプロモーション(代表取締役社長 白井 裕、所在地:東京都千代田区)は、4月14日(土)～15日(日)の2日間、三重県鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周 5.807km)で開催される鈴鹿2&4レース「2012年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第1戦鈴鹿サーキット」について選手権概要を発表する。

開幕戦の鈴鹿大会は、三重県鈴鹿サーキット国際公認レーシングコースを43周、トータル249.701kmで争われる。予選はノックアウト方式で行われる。

今シーズンのレースフォーマットは、よりエキサイティングなレースをファンの皆様にご提供することを目的に、チーム戦略が際立つ、タイヤ交換のタイミングや、燃料補給戦略などがキーポイントとなる250km程度の中距離レースを基本フォーマットとした。またタイヤ交換義務を無くし、さらに燃料タンクの最大積載量を減らす規則変更により、タイヤ交換のタイミングや、燃料給油のためのピットインがレース戦略上重要となり、チームの総合力が問われることとなる。

この鈴鹿大会には、12エントリー17名の選手が参加。特に今シーズンは2007年以降のシリーズチャンピオン4名がエントリーする。2007～2008年2年連続チャンピオンを獲得した松田次生(チーム インパル)。2009年のチャンピオン、ロイック・デュバル(チーム キグナス スノコ)。2010年のチャンピオン、J. P. デ・オリベイラ(チーム インパル)。そして昨年度(2011年)チャンピオンのアンドレ・ロッテラー(ペトロナス・チーム・トムス)ら、フォーミュラ・ニッポン史上初の4チャンピオンが参加。国内最高峰フォーミュラの全日本選手権に相応しい、ハイレベルな戦いが期待される。

またこれまで7回の優勝経験がある小暮卓史(ナカジマ レーシング)。昨年フォーミュラ・ニッポンにはルーキー参戦ながら1勝を挙げシリーズ2位を獲得し、F1世界選手権フル参戦経験の実力を見せつけた中嶋一貴(ペトロナス・チーム・トムス)。今シーズン移籍を果たし心機一転の平手晃平(プロジェクト・ミュー/セルモ・インギング)。昨年同様チーム ルマンからエントリーの大嶋和也。復活参戦を果たした金石年弘(エイチピー リアル レーシング)などの、フォーミュラ・ニッポン優勝経験を持つ実力派のドライバーも注目される。

続いては昨年ホンダ勢トップと成長著しい塚越広大(ドコモ チーム ダンディライアン レーシング)。チームメイトの伊沢拓也(ドコモ チーム ダンディライアン レーシング)。さらに昨年開幕戦でポールポジションを獲得した山本尚貴(チーム無限)。参戦2年目の国本雄資(プロジェクト・ミュー/セルモ・インギング)。中嶋大祐(ナカジマ レーシング)。嗟哦宏紀(トチギル・ボーセ モータースポーツ)。F3からステップアップの安田裕信(コンドール レーシング)。6年ぶりの復活参戦を果たした折目遼(SGC by KCMG)らも、今季の飛躍が期待される。

*第7戦(最終戦)鈴鹿大会のみ、1大会2レース(160km/115km)制となる。

2012年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第1戦 鈴鹿エントリーリスト

(シャーシ：FN09、タイヤ：ブリヂストン)

No.	ドライバー	年齢 出身	チーム 監督	エンジン
1	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	30 ドイツ	PETRONAS TEAM TOM'S ペトロナス・チーム・トムス	TOYOTA RV8K
2	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	27 日本 愛知県	舘 信秀	
3	☆ 安田 裕信 Hironobu Yasuda	28 日本 滋賀県	KONDO RACING コンドー レーシング 近藤 真彦	TOYOTA RV8K
7	大嶋 和也 Kazuya Oshima	24 日本 群馬県	Team LeMans チーム ルマン 武藤 裕作	TOYOTA RV8K
8	ロイク・デュバル Loic Duval	29 フランス	Team KYGNUS SUNOCO チーム キグナス スノコ 土屋 武士	TOYOTA RV8K
10	金石 年弘 Toshihiro Kaneishi	33 日本 大阪府	HP REAL RACING エイチピー リアル レーシング 金石 勝智	HONDA HR12E
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	23 日本 栃木県	TEAM 無限 チーム 無限 手塚 長孝	HONDA HR12E
18	折目 遼 Ryo Orime	29 日本 京都府	SGC by KCMG エスジーシー バイ ケーシーエムジー 土居 隆二	TOYOTA RV8K
19	ジョアオ・パオ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	30 ブラジル	TEAM IMPUL チーム インパル	TOYOTA RV8K
20	松田 次生 Tsugio Matsuda	32 日本 三重県	星野 一義	
31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	23 日本 愛知県	NAKAJIMA RACING ナカジマ レーシング	HONDA HR12E
32	小暮 卓史 Takashi Kogure	31 日本 群馬県	中嶋 悟	
38	平手 晃平 Kohei Hirate	26 日本 愛知県	Project μ/cerumo・INGING プロジェクト・ミュ/セルモ・インギング	TOYOTA RV8K
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	21 日本 神奈川県	立川 祐路	
40	伊沢 拓也 Takuya Izawa	27 日本 東京都	DOCOMO TEAM DANDELIONRACING ドコモ チーム ダンデライオン レーシング	HONDA HR12E
41	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	25 日本 栃木県	村岡 潔	
62	嵯峨 宏紀 Koki Saga	28 日本 愛知県	TOCHIGI Le Beausset Motorsports トチギ ル・ボッセ モーターポーツ 坪松 唯夫	TOYOTA RV8K

☆印は2012ルーキードライバーを示します。

2012年シリーズ選手権 ポイントシステム

■選手権ポイントシステム

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	PP
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5+3	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

※2レース制に限り第1レース、第2レースの勝者に通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。

【ご参考】

1. フォーミュラ・ニッポン

全日本選手権フォーミュラ・ニッポンは、日本自動車連盟（JAF）が公認し、日本レースプロモーションのプロモートにより1996年にスタート。純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースで、全国5か所のサーキットを転戦。本年は全7戦+特別戦1戦を開催する。

2. シリーズ賞典

シリーズドライバーズチャンピオンには、日本レースプロモーションより賞金と、シリーズドライバーズチャンピオンカップが授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が、さらに本年より観光庁長官杯が贈られる。またシリーズチャンピオン・チームには経済産業省より経済産業大臣杯が贈られる。

3. レース車両

シャシーは米国スィフト・エンジニアリング社製のFN09。エンジンはトヨタとホンダが供給する、排気量3,400cc、V型8気筒自然吸気エンジン、TOYOTA RV8KまたはHONDA HR12Eを使用する。タイヤはすべてブリヂストン製のワンメイク。

4. オーバーテイクシステム

ステアリングにあるボタンを押すと、20秒間エンジン回転数がアップし加速力が加わる。このシステムは決勝レース中5回まで使用することが可能で、追い越しなどを容易にする。使用中はドライバーのヘルメットの後方にあるランプが点滅し、観客からも視認できる。またポイントリーダードライバーは、赤色のオーバーテイクランプ（リーダーズレッド）を装着している。これはフォーミュラ・ニッポン独特の仕組み。

5. ノックアウト予選

公式予選は決勝レースのスタート位置を決定するためにQ1、2、3の、計3回の予選が行われる。本大会のように17台エントリーの場合にはQ1（20分間）で14位から17位のスタート位置を決定。10分間のインターバルの後、Q2（7分間）を行い9~13位のスタート位置を決定する。さらに10分間のインターバルの後Q3を行い、1~8位までの決勝レーススタート位置を決定する。文字通りの好タイムが出なければノックアウト（脱落）されることから、ノックアウト方式（勝ち抜き戦）と呼ばれる。

2012年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 開催スケジュール

日程	ラウンド	開催サーキット
4/14~15	第1戦 鈴鹿サーキット	鈴鹿サーキット
5/12~13	第2戦 ツインリンクもてぎ	ツインリンクもてぎ
5/26~27	第3戦 オートポリス	オートポリス
7/14~15	第4戦 富士スピードウェイ	富士スピードウェイ
8/4~5	第5戦 ツインリンクもてぎ	ツインリンクもてぎ
9/22~23	第6戦 スポーツランドSUGO	スポーツランドSUGO
11/3~4	第7戦 鈴鹿サーキット	鈴鹿サーキット

Series Partner

Series Supporter

Promotion Partner

開催概要

- 大会名称：鈴鹿2&4レース
- レース：2012年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第1戦 鈴鹿サーキット
2012 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第2戦
- 同日開催：Enjoy Honda SUZUKA 2012
2012年 アチーブメント全日本フォーミュラ3選手権 第1戦&第2戦
Honda Sports & Eco Program CR-Z 10リッターチャレンジ
- 開催日：2012年4月14日(土)～15日(日)
予選スタート4/14(土) 14:00～
決勝スタート4/15(日) 14:30～
- 開催地：鈴鹿サーキット(三重県)
(決勝レース距離：5.807km/1周x43周=249.701km)
- 主催：グループ・オブ・スピードスポーツ(GSS) / 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)
財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ) / 株式会社モビリティランド
- 公認：国際自動車連盟(FIA) / 社団法人日本自動車連盟(JAF)
国際モーターサイクリズム連盟(FIM) / 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)
- 認定：株式会社日本レースプロモーション(JRP) / 日本フォーミュラスリー協会(JF3A)
- 後援：文部科学省 / 観光庁 / 三重県 / 鈴鹿市 / 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会
社団法人鈴鹿市観光協会 / 鈴鹿商工会議所 / 東京中日スポーツ / 中日スポーツ / 中日新聞社

【TV放映予定】

- ・「BSフジ」：4月22日(日) 18時00分～18時55分
再放送4/28(土) 13時00分～13時55分
 - ・「J SPORTS」：ライブ中継
- *放送日、時間は予告なく変更される場合がありますので、
FN公式ホームページ (<http://www.f-nippon.co.jp>) でご確認ください。

【チケット情報】

- 観戦券(2日間有効) *4月13日(金)も入場可
大人 ¥3,900(ゆうえんちモートピアパスポート1日付)
中・高校生 ¥1,600(入場のみ)
- *観戦情報、チケットなどの詳細は、鈴鹿サーキットホームページ (<http://www.suzukacircuit.jp/>) をご参照ください。

*この件に関するお問い合わせは下記担当までお願いいたします。
担当：遠藤清人(MP:090-3401-8112)(e-mail:media@f-nippon.co.jp)
株式会社日本レースプロモーション(<http://www.f-nippon.co.jp/>)
102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル
Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135